

ちょうちょう

温かい陽気に誘われて、家のまわりをちょうちょうが飛んでいます。

さっそく、長男が虫とりあみをもちだし、飛びまわるちょうちょうをつかまえようと、みぎへ、ひだりへと走りまわっています。

しかし、なかなかつかまえることができずに、ついに、お姉ちゃん登場。

1ぴきあみでつかまえては、あみのまわりに子どもたちが頭をよせて集まり、ひんぴょう会のはじまりです。

またつかまえて、かんさつして、逃がして・・・。

とうとう長男は虫かごをもってきて、つかまえたちょうちょうを虫かごの中に入れてほしいとお姉ちゃんに頼みました。

「かわいそうだから。飛んでるちょうちょうがきれいだよ。」

という姉の言葉を無視して、長男はちょうちょうを自分のものにしたいくてたまりません。

長男は、まるで自分がつかまえたかのように虫かごの中のちょうちょうを得意気に見せびらかします。

虫かごフリフリ、ちょうちょうは休むひまもありません。

しばらくして、虫かごの中のちょうちょうは飛びまわらないことが不満のようで、

「どうして動かないの？」

と姉にたずねている長男。

虫かごの中では、心地よく、優雅に飛び回ることはできないちょうちょう。

長男が本当の美しさ、命のすばらしさに気付くことができるのは、

まだまだ、ずっ～と先になります。